

特別展

# 筑波山

おわ

## — 神と仏の御座す山 —

茨城県のほぼ中央に位置する筑波山は、標高877mの女体山と、その西に位置する標高871mの男体山の二峰からなり、「紫峰」や「筑波嶺」などと称して親しまれ、関東の名山ばかりでなく日本百名山の一つにあげられてきました。『常陸国風土記』の中にもみられるように、筑波山が昔から富士山と比較されてきたことはあまりにも有名です。また、古くより信仰の山としても広く知られてきました。

古来より筑波山の男体山頂には「筑波男大神」が、女体山頂には「筑波女大神」がそれぞれ祀られてきましたが、平安時代になると仏教の導入とともに神仏習合が図られて「筑波両大神」となり、従来からの山岳信仰と併せて山全体が修験霊場となってきました。そして、江戸時代まで数多くの社や堂宇が建てられました。その中心が徳川家の祈願所となった「知足院中禅寺」です。特に、三代将軍家光は筑波山に大伽藍を造営しました。また、筑波山は「坂東三十三観音二十五番札所」としてや、「筑波講・御六神講・大同講」の拠として庶民の信仰も集めていました。

しかし、明治時代になると、廃仏毀釈により仏教関係の建物や仏像・仏具類は破却され、改めて「筑波山神社」となりました。

今回の展示では、神様も仏様も両方御座した霊峰「筑波山」が、古代から近代にかけて、人々にどのように信仰されてきたのか紹介します。

### 講演会 (要入館券)

演題:「筑波山と民間信仰」  
 日時:平成25年2月24日(日) 午後1時30分～3時30分  
 会場:茨城県立歴史館講堂  
 講師:西海 賢二 氏 (東京家政学院大学教授)  
 定員:200名 (先着順)

### 展示解説 (要入館券)

日時:①平成25年2月10日(日):「筑波山-古代編-」  
 ②平成25年2月17日(日):「筑波山-中世編-」  
 ③平成25年3月2日(土):「筑波山-近世徳川将軍家編-」  
 ④平成25年3月9日(土):「筑波山-近世庶民編-」  
 ⑤平成25年3月16日(土):「筑波山-近代編-」  
 各日 午前11時、午後2時 各回約30分  
 会場:茨城県立歴史館展示室  
 担当:当館首席研究員 大関 武

### 筑波山年中行事 DVD上映 (要入館券)

内容:「筑波山御座替祭」・「筑波山禪定・筑波講」  
 日時:会期中全日  
 会場:茨城県立歴史館エントランスホール

### 筑波山写真展 (要入館券)

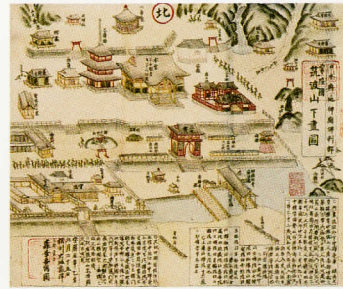
日時:会期中全日  
 会場:茨城県立歴史館エントランスホール及び2階ギャラリー  
 協力:日本写真協会会員 滝原 逸郎 氏

### 筑波山がまの油売り口上 (要入館券)

日時:平成25年3月16日(土) 午前10時30分～11時、午後1時30分～2時  
 会場:茨城県立歴史館講堂  
 出演:19代永井兵助 吉岡 久子 氏



常陸国筑波山上画図  
国立公文書館 2月9日(土)～3月3日(日)



常陸国筑波山下画図  
国立公文書館 3月5日(火)～3月20日(水)



旧中禅寺千手堂  
四臂不動明王坐像(護摩壇本尊)  
万蔵院



筑波神社両皇大神御影  
個人



六所神社牛頭面  
つくば市指定文化財 個人



太刀(銘宗宗) 国指定重要文化財  
筑波山神社(東京国立博物館寄託)



花卉双蝶八花鏡  
筑波山神社



三十六歌仙絵額(柿本麻呂)  
筑波山神社 2月9日(土)～3月3日(日)



三十六歌仙絵額(小野小町)  
筑波山神社 3月5日(火)～3月20日(水)



清明上河図(部分) 筑波山神社

### 交通のご案内

◎茨城交通バス、(水戸駅北口4番のりば)「桜川西団地」行「借楽園・歴史館入口」下車、徒歩2分

◎常磐自動車道 水戸インターから約7km、車で15分。

